

1節 三角形の性質

1 三角形と角

平行線と角

2つの直線が交わるとき、次の性質が成り立つ。

対頂角の性質
対頂角は等しい。

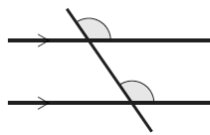


(教科書 p.44)

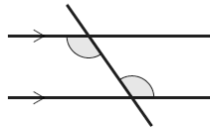
平行な2直線に1つの直線が交わるとき、次の性質が成り立つ。

平行線の性質
[1] 同位角は等しい。 [2] 錯角は等しい。

同位角



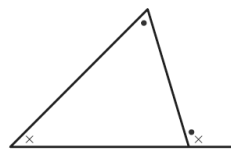
錯角



三角形の角

三角形の内角と外角について、次の性質が成り立つ。

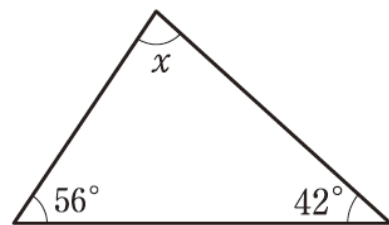
三角形の内角、外角の性質
[1] 三角形の内角の和は 180° である。 [2] 三角形の外角は、それと隣り合わない2つの内角の和に等しい。



(教科書 p.44)

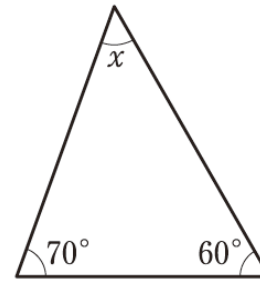
例1 右の図で、三角形の内角の和は 180° であるから

$$x = 180^\circ - (56^\circ + 42^\circ) = 82^\circ$$

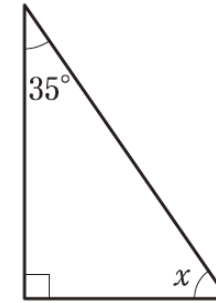


問1 次の図で、 x の値を求めなさい。

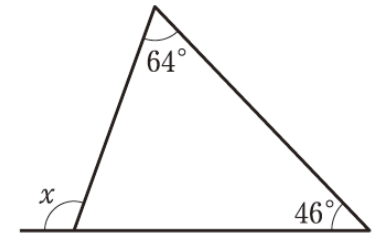
(1)



(2)



(3)



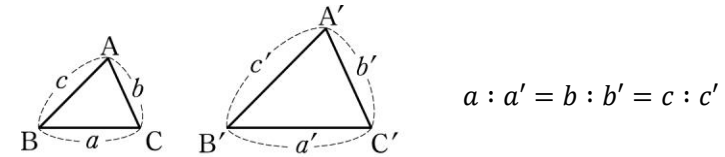
三角形の相似

(教科書 p.45)

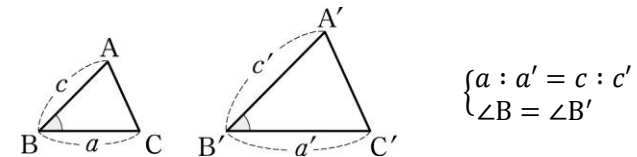
三角形の相似条件

2つの三角形は、次のどれかが成り立つとき相似である。

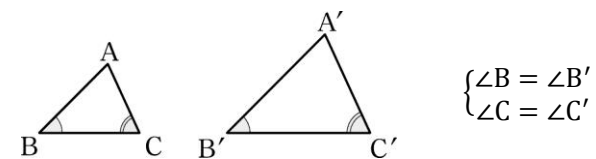
[1] 3組の辺の比がすべて等しい。



[2] 2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい。



[3] 2組の角がそれぞれ等しい。



$\triangle ABC$ と $\triangle A'B'C'$ が相似であることを $\triangle ABC \sim \triangle A'B'C'$ とかく。

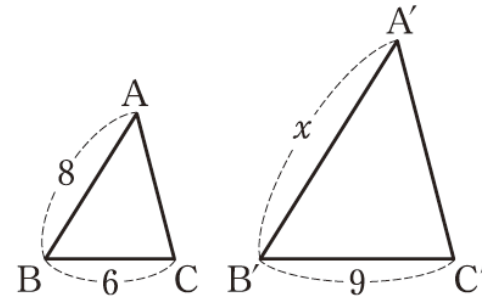
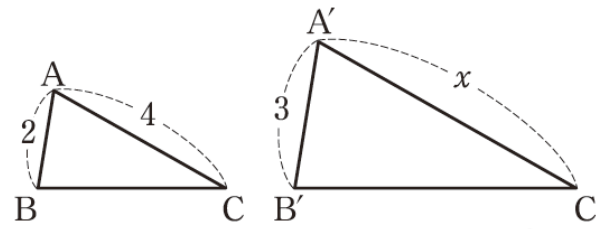
相似な三角形では、対応する辺の長さの比はすべて等しく、対応する角の大きさはそれぞれ等しい。

例 2 右の図で、 $\triangle ABC \sim \triangle A'B'C'$ であるとき、

$AB : A'B' = AC : A'C'$ より

これを解いて

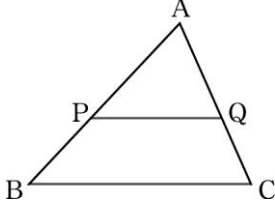
問 2 右の図で、 $\triangle ABC \sim \triangle A'B'C'$ であるとき、 x の値を求めなさい。



2 三角形と比

(教科書 p.46)

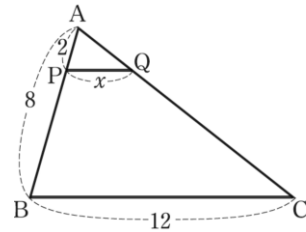
三角形と比について、次の性質がある。

三角形と比	
$\triangle ABC$ の辺 AB , AC 上の点をそれぞれ P , Q とする。 [1] $PQ \parallel BC$ ならば $AP : AB = AQ : AC = PQ : BC$ $AP : PB = AQ : QC$ [2] $AP : AB = AQ : AC$ ならば $PQ \parallel BC$ [3] $AP : PB = AQ : QC$ ならば $PQ \parallel BC$	

例3 次の図で、 $PQ \parallel BC$ であるときの x の値を求めてみよう。

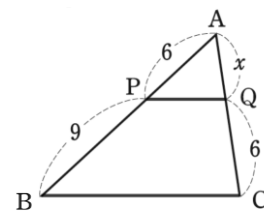
(1) 右の図で、 $PQ \parallel BC$ であるとき

$$AP : AB = PQ : BC$$

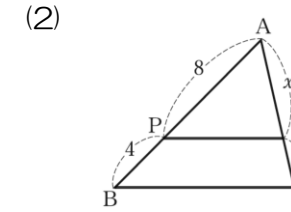
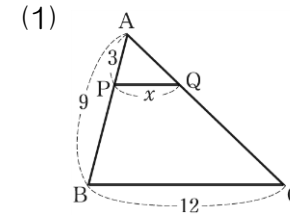


(2) 右の図で、 $PQ \parallel BC$ であるとき

$$AP : PB = AQ : QC$$



問3 次の図で、 $PQ \parallel BC$ であるとき、 x の値を求めなさい。



中点連結定理

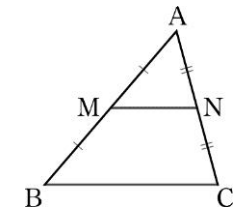
(教科書 p.47)

三角形と比の性質から、次の() が成り立つ。

中点連結定理

$\triangle ABC$ の辺 AB , AC の中点をそれぞれ M , N とすると

$$MN \parallel BC, \quad MN = \frac{1}{2} BC$$



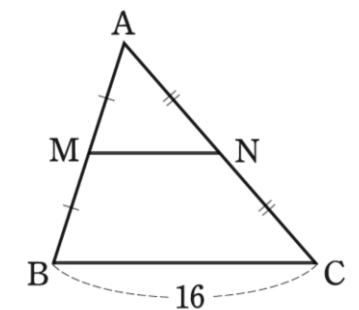
例4 右の図の $\triangle ABC$ で、 M , N をそれぞれ辺 AB , AC の中点とする

と

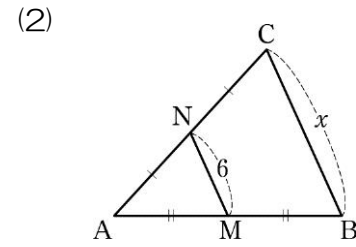
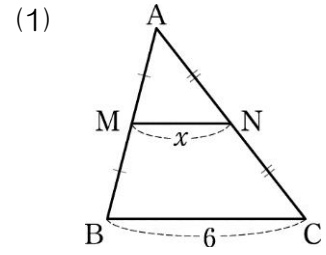
$$MN =$$

ここで、 $BC = 16$ であるから

$$MN =$$

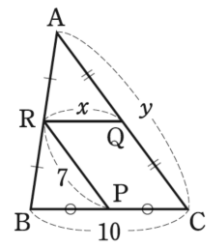


問4 次の図の△ABCで、M、Nをそれぞれ辺AB、ACの中点とすると、 x の値を求めなさい。



問5 右の図の△ABCで、P、Q、Rはそれぞれ辺BC、CA、ABの中点である。

(1) x の値を求めなさい。



(2) y の値を求めなさい。

3 三角形の重心・外心・内心

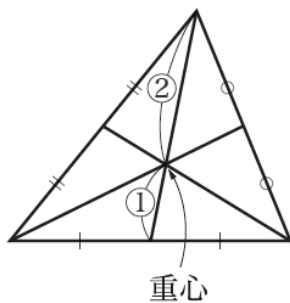
三角形の重心

(教科書 p.48)

三角形の頂点とその対辺の中点を結ぶ線分を(1) という。

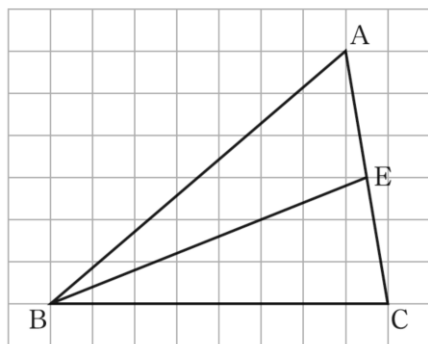
三角形の3本の中線は1点で交わる。この点をその三角形の(2) という。

重心について、次のことが成り立つ。



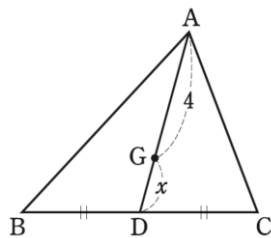
三角形の重心
[1] 三角形の3本の中線は1点で交わる。 [2] 重心は、それぞれの中線を2:1に分ける。

問6 次の図において、辺ACの中点をEとすると、 $\triangle ABC$ の重心を求めなさい。

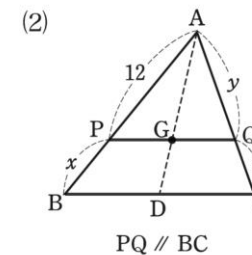
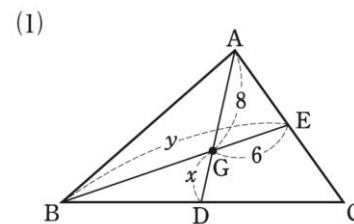


例5 右の図の $\triangle ABC$ で、点Gが重心であるとする

$AG : GD =$



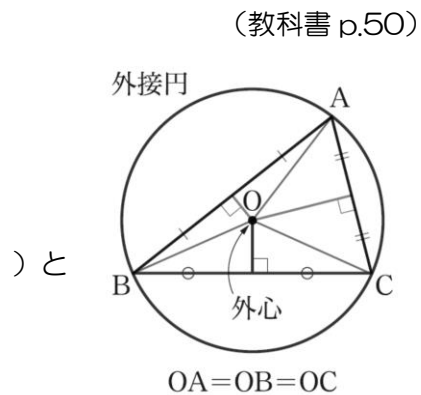
問7 次の図で、点Gは $\triangle ABC$ の重心である。 x, y の値を求めなさい。



三角形の外心

右の図の△ABCで、2辺AB、ACの垂直二等分線の交点をOとする。

点Oは3つの頂点から等距離にあるので、Oを中心としてOAを半径とする円は3つの頂点を通る。この円を△ABCの(3))といい、中心Oを△ABCの(4) いう。



)と

三角形の外心
三角形の3辺の垂直二等分線は1点で交わる。

例6 右の図で、点Oが△ABCの外心であるとき、∠BACの大きさを求めてみよう。

点Oが△ABCの外心であるから

$$OA = OB = OC$$

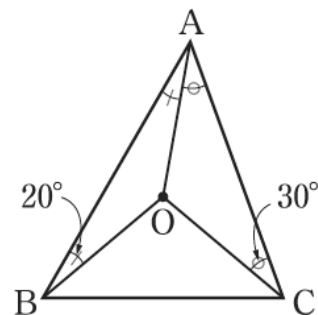
よって、△OAB、△OACは二等辺三角形となり

$$\angle OAB = \angle OBA =$$

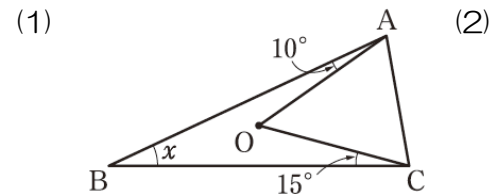
$$\angle OAC = \angle OCA =$$

したがって

$$\angle BAC =$$



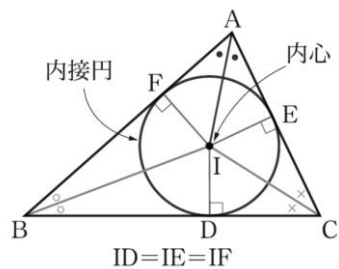
問8 次の図で、点Oは△ABCの外心である。xの値を求めなさい。



三角形の内心

(教科書 p.51)

右の図の $\triangle ABC$ で、 $\angle B$ 、 $\angle C$ の二等分線の交点を I とし、 I から辺 BC 、 CA 、 AB にそれぞれ垂線 ID 、 IE 、 IF を引く。
 点 I は 3 辺から等距離にあるので、 I を中心として ID を半径とする円は 3 辺に接する。この円を $\triangle ABC$ の
 (5)) といい、中心 I を $\triangle ABC$ の (6)) という。



三角形の内心
三角形の 3 つの内角の二等分線は 1 点で交わる。

例 7 右の図で、点 I が $\triangle ABC$ の内心であるとき、 $\angle BAC$ の大きさを求めてみよう。

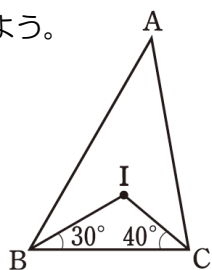
IB 、 IC はそれぞれ $\angle ABC$ 、 $\angle ACB$ の二等分線であるから

$\angle ABC =$

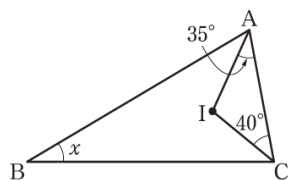
$\angle ACB =$

三角形の内角の和は 180° であるから

$\angle BAC =$



問 9 右の図で、点 I は $\triangle ABC$ の内心である。 x の値を求めなさい。



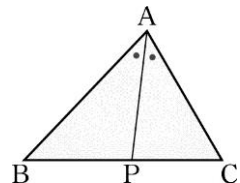
4 角の二等分線と線分の比

(教科書 p.52)

角の二等分線と線分の比

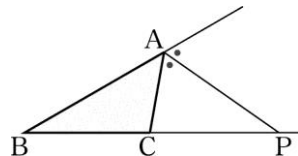
△ABCで、∠Aの二等分線と対辺BCの交点をPとすると

$$BP : PC = AB : AC$$



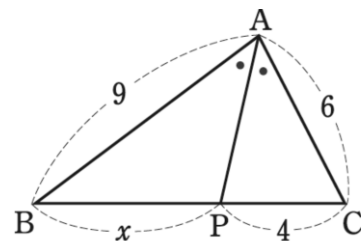
△ABCで、頂点Aにおける外角の二等分線と対辺BCの延長の交点をPとしても、次の式は成り立つ。

$$BP : PC = AB : AC$$

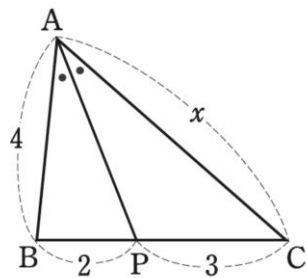


例8 右の図で、APを∠Aの二等分線とすると、xの値を求めよう。

APを∠Aの二等分線とすると



問10 右の図で、APは∠Aの二等分線である。xの値を求めなさい。

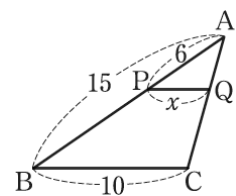


復習問題

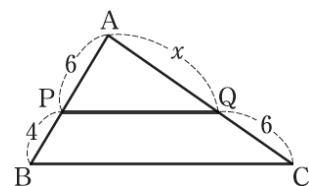
(教科書 p.53)

1 次の図で、 $PQ \parallel BC$ であるとき、 x の値を求めなさい。

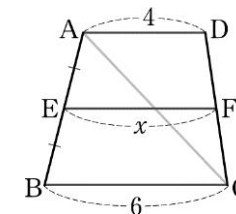
(1)



(2)

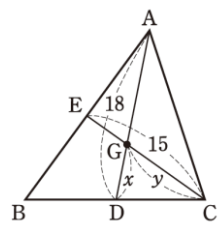


2 右の図で、四角形 $ABCD$ は $AD \parallel BC$ の台形である。また、点 E は辺 AB の中点で、 $EF \parallel AD$ である。 x の値を求めなさい。

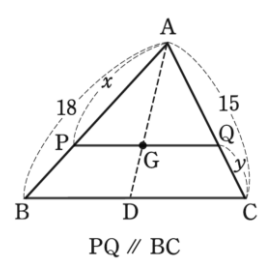


3 次の図で、点Gは△ABCの重心である。 x 、 y の値を求めなさい。

(1)

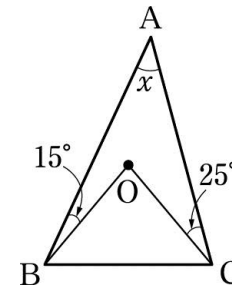


(2)

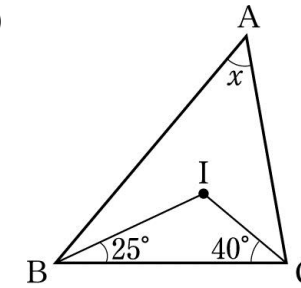


4 次の図で、点O、Iはそれぞれ△ABCの外心、内心である。 x の値を求めなさい。

(1)

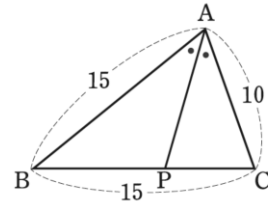


(2)



5 右の図で、APは $\angle A$ の二等分線である。次の問に答えなさい。

(1) $BP : PC$ を求めなさい。



(2) BP, PCの長さを求めなさい。

1節 三角形の性質

1 三角形と角

平行線と角

2つの直線が交わるとき、次の性質が成り立つ。

対頂角の性質
対頂角は等しい。

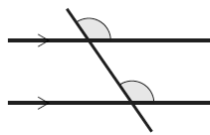


(教科書 p.44)

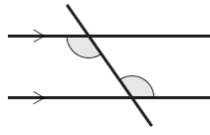
平行な2直線に1つの直線が交わるとき、次の性質が成り立つ。

平行線の性質
[1] 同位角は等しい。 [2] 錯角は等しい。

同位角



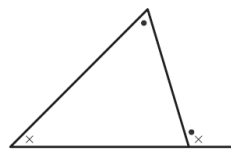
錯角



三角形の角

三角形の内角と外角について、次の性質が成り立つ。

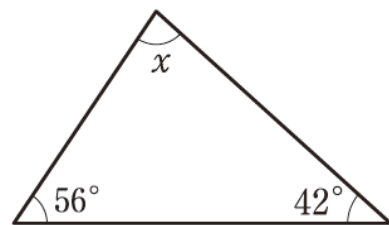
三角形の内角、外角の性質
[1] 三角形の内角の和は 180° である。 [2] 三角形の外角は、それと隣り合わない2つの内角の和に等しい。



(教科書 p.44)

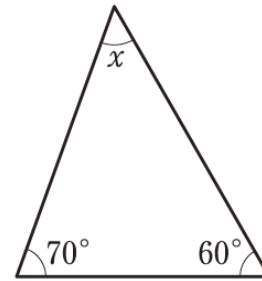
例1 右の図で、三角形の内角の和は 180° であるから

$$x = 180^\circ - (56^\circ + 42^\circ) = 82^\circ$$



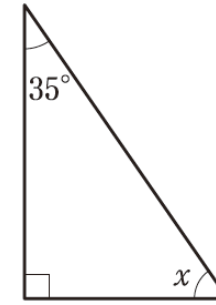
問1 次の図で、 x の値を求めなさい。

(1)



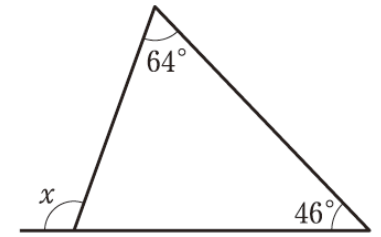
$$x = 180^\circ - (70^\circ + 60^\circ) = 50^\circ$$

(2)



$$x = 180^\circ - (35^\circ + 90^\circ) = 55^\circ$$

(3)



$$x = 64^\circ + 46^\circ = 110^\circ$$

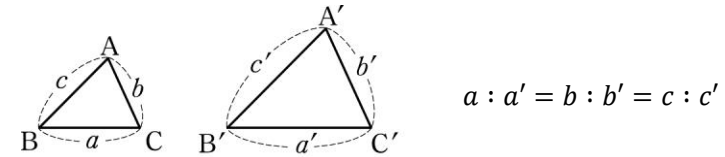
三角形の相似

(教科書 p.45)

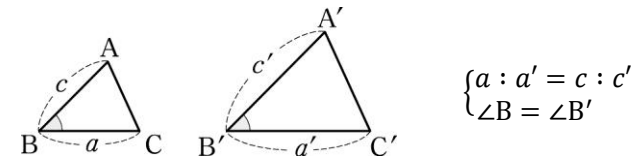
三角形の相似条件

2つの三角形は、次のどれかが成り立つとき相似である。

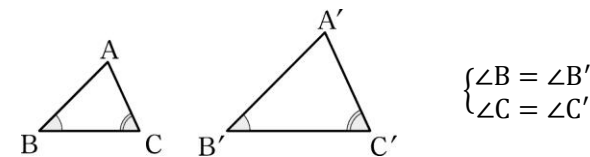
[1] 3組の辺の比がすべて等しい。



[2] 2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい。



[3] 2組の角がそれぞれ等しい。



$\triangle ABC$ と $\triangle A'B'C'$ が相似であることを $\triangle ABC \sim \triangle A'B'C'$ とかく。

相似な三角形では、対応する辺の長さの比はすべて等しく、対応する角の大きさはそれぞれ等しい。

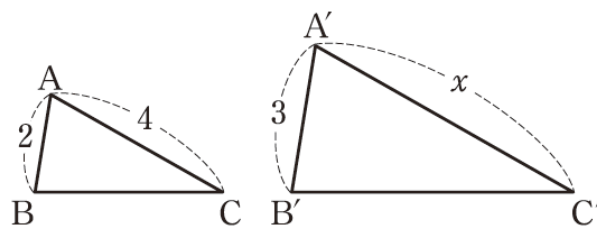
例2 右の図で、 $\triangle ABC \sim \triangle A'B'C'$ であるとき、

$AB : A'B' = AC : A'C'$ より

$$2 : 3 = 4 : x$$

$$2x = 3 \times 4$$

これを解いて $x = 6$



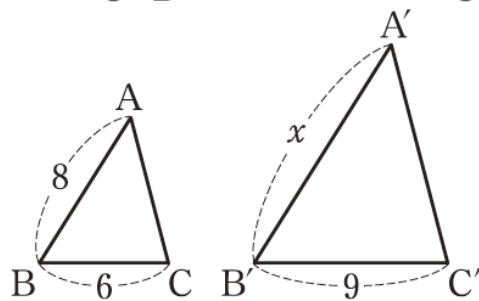
問2 右の図で、 $\triangle ABC \sim \triangle A'B'C'$ であるとき、 x の値を求めなさい。

$AB : A'B' = BC : B'C'$ より

$$8 : x = 6 : 9$$

$$8 \times 9 = 6x$$

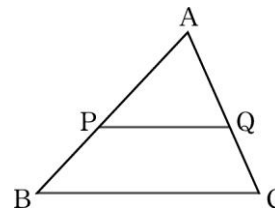
これを解いて $x = 12$



(教科書 p.46)

2 三角形と比

三角形と比について、次の性質がある。

三角形と比	
$\triangle ABC$ の辺 AB, AC 上の点をそれぞれ P, Q とする。 [1] $PQ \parallel BC$ ならば $AP : AB = AQ : AC = PQ : BC$ $AP : PB = AQ : QC$ [2] $AP : AB = AQ : AC$ ならば $PQ \parallel BC$ [3] $AP : PB = AQ : QC$ ならば $PQ \parallel BC$	

例 3 次の図で、 $PQ \parallel BC$ であるときの x の値を求めてみよう。

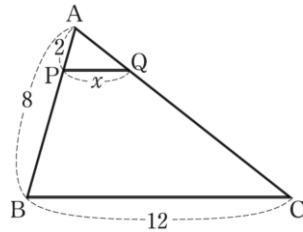
(1) 右の図で、 $PQ \parallel BC$ であるとき

$$AP : AB = PQ : BC$$

よって $2 : 8 = x : 12$

$$2 \times 12 = 8x$$

これを解いて $x = 3$



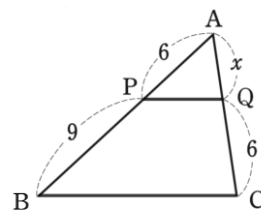
(2) 右の図で、 $PQ \parallel BC$ であるとき

$$AP : PB = AQ : QC$$

よって $6 : 9 = x : 6$

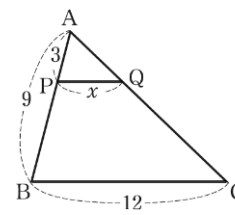
$$6 \times 6 = 9x$$

これを解いて $x = 4$



問 3 次の図で、 $PQ \parallel BC$ であるとき、 x の値を求めなさい。

(1)



(1) $PQ \parallel BC$ であるから

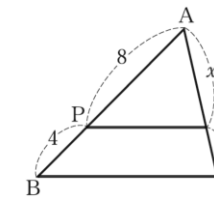
$$AP : AB = PQ : BC$$

よって $3 : 9 = x : 12$

$$3 \times 12 = 9x$$

これを解いて $x = 4$

(2)



(2) $PQ \parallel BC$ であるから

$$AP : PB = AQ : QC$$

よって $8 : 4 = x : 3$

$$8 \times 3 = 4x$$

これを解いて $x = 6$

中点連結定理

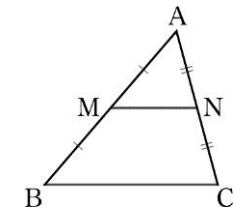
(教科書 p.47)

三角形と比の性質から、次の(1) **中点連結定理** が成り立つ。

中点連結定理

$\triangle ABC$ の辺 AB, AC の中点をそれぞれ M, N とすると

$$MN \parallel BC, \quad MN = \frac{1}{2} BC$$



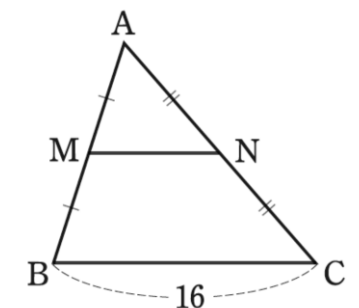
例 4 右の図の $\triangle ABC$ で、M, N をそれぞれ辺 AB, AC の中点とすると

$$MN = \frac{1}{2} BC$$

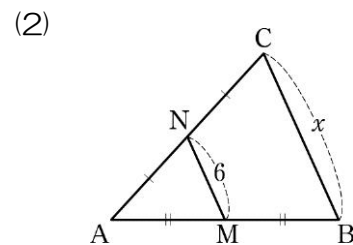
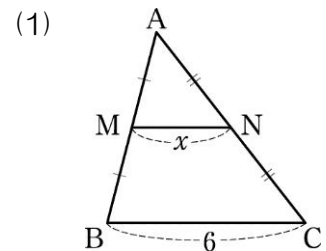
ここで、 $BC = 16$ であるから

$$MN = \frac{1}{2} \times 16$$

$$= 8$$



問4 次の図の△ABCで、M、Nをそれぞれ辺AB、ACの中点とすると、xの値を求めなさい。



(1) 中点連結定理により、

$$MN = \frac{1}{2}BC$$

であるから

$$x = \frac{1}{2} \times 6 = 3$$

(2) 中点連結定理により、

$$MN = \frac{1}{2}BC$$

であるから

$$6 = \frac{1}{2}x$$

$$x = 12$$

問5 右の図の△ABCで、P、Q、Rはそれぞれ辺BC、CA、ABの中点である。

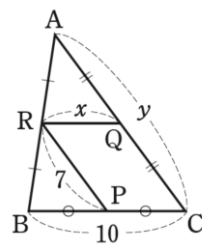
(1) xの値を求めなさい。

△ABCで、R、Qがそれぞれ辺AB、ACの中点であるから

$$RQ = \frac{1}{2}BC$$

よって

$$x = \frac{1}{2} \times 10 = 5$$



(2) yの値を求めなさい。

△ABCで、P、Rがそれぞれ辺BC、BAの中点であるから

$$PR = \frac{1}{2}CA$$

よって

$$7 = \frac{1}{2}y$$

$$y = 14$$

3 三角形の重心・外心・内心

三角形の重心

(教科書 p.48)

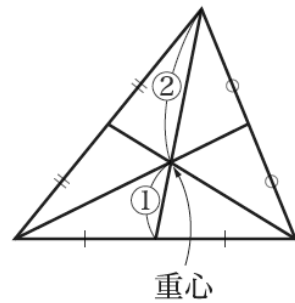
三角形の頂点とその対辺の中点を結ぶ線分を(1 **中線**)という。

三角形の3本の中線は1点で交わる。この点をその三角形の(2 **重心**)という。

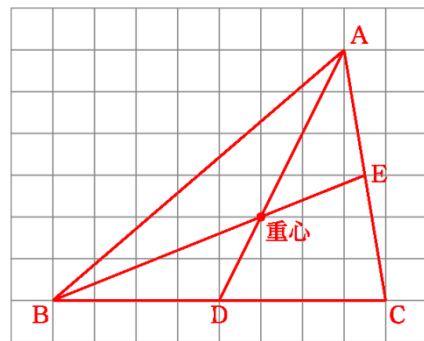
重心について、次のことが成り立つ。

三角形の重心

- [1] 三角形の3本の中線は1点で交わる。
- [2] 重心は、それぞれの中線を2:1に分ける。



問6 次の図において、辺ACの中点をEとするとき、△ABCの重心を求めなさい。



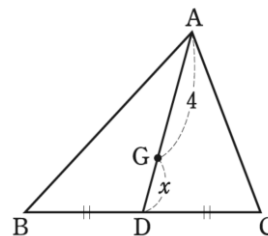
例5 右の図の△ABCで、点Gが重心であるとすると

$$AG : GD = 2 : 1$$

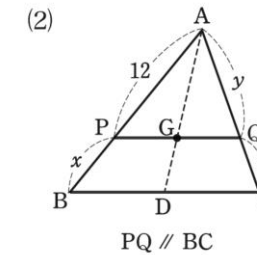
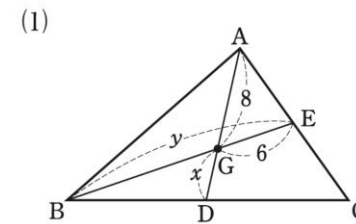
$$\text{よって } 4 : x = 2 : 1$$

$$1 \times 4 = 2x$$

$$\text{これを解いて } x = 2$$



問7 次の図で、点Gは△ABCの重心である。x, yの値を求めなさい。



(1) 点Gが△ABCの重心であるから

$$AG : GD = 2 : 1$$

$$\text{よって } 8 : x = 2 : 1$$

$$8 \times 1 = 2x$$

$$\text{これを解いて } x = 4$$

$$\text{また } BG : GE = 2 : 1$$

$$BG : 6 = 2 : 1$$

$$BG = 6 \times 2 = 12$$

$$y = BG + GE \text{ であるから}$$

$$y = 12 + 6 = 18$$

(2) 点Gが△ABCの重心であるから

$$AG : GD = 2 : 1 \quad \dots\dots ①$$

PQ // BC であるから

$$AP : PB = AG : GD \quad \dots\dots ②$$

$$AQ : QC = AG : GD \quad \dots\dots ③$$

$$\text{①, ②より } AP : PB = 2 : 1$$

$$12 : x = 2 : 1$$

$$12 \times 1 = 2x$$

$$\text{これを解いて } x = 6$$

$$\text{①, ③より } AQ : QC = 2 : 1$$

$$y : 5 = 2 : 1$$

$$y = 5 \times 2$$

$$y = 10$$

三角形の外心

右の図の△ABCで、2辺AB、ACの垂直二等分線の交点をOとする。

点Oは3つの頂点から等距離にあるので、Oを中心としてOAを半径とする円は3つの頂点を通る。この円を△ABCの(3 外接円)といい、中心Oを△ABCの(4 外心)という。

三角形の外心
三角形の3辺の垂直二等分線は1点で交わる。

例6 右の図で、点Oが△ABCの外心であるとき、∠BACの大きさを求めてみよう。

点Oが△ABCの外心であるから

$$OA = OB = OC$$

よって、△OAB、△OACは二等辺三角形となり

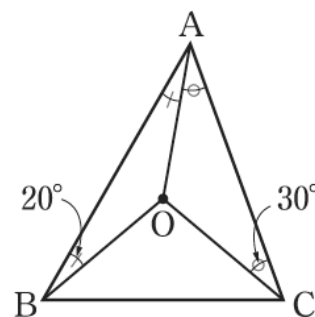
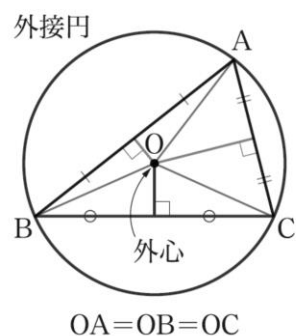
$$\angle OAB = \angle OBA = 20^\circ$$

$$\angle OAC = \angle OCA = 30^\circ$$

したがって

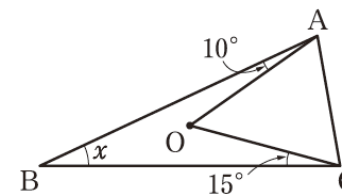
$$\angle BAC = \angle OAB + \angle OAC = 20^\circ + 30^\circ = 50^\circ$$

(教科書 p.50)

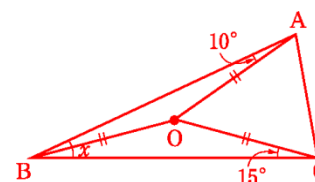


問8 次の図で、点Oは△ABCの外心である。xの値を求めなさい。

(1)



(1)



点Oが△ABCの外心であるから

$$OA = OB = OC$$

よって、△OBAは二等辺三角形となり

$$\angle OBA = \angle OAB = 10^\circ$$

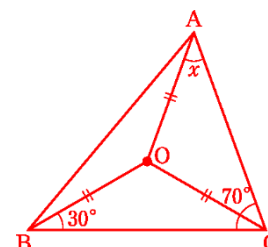
また、△OBCも二等辺三角形となるから

$$\angle OBC = \angle OCB = 15^\circ$$

したがって

$$x = \angle OBA + \angle OBC = 10^\circ + 15^\circ = 25^\circ$$

(2)



点Oが△ABCの外心であるから

$$OA = OB = OC$$

よって、△OCBは二等辺三角形となり

$$\angle OCB = \angle OBC = 30^\circ$$

また、△OCAも二等辺三角形となるから

$$\angle OCA = \angle OAC = x$$

∠BCA = ∠OCB + ∠OCAであるから

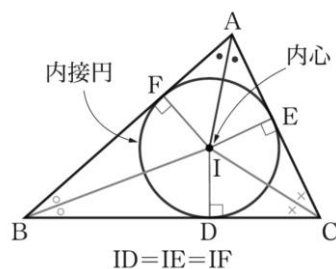
$$70^\circ = 30^\circ + x$$

$$x = 40^\circ$$

三角形の内心

(教科書 p.51)

右の図の $\triangle ABC$ で、 $\angle B$ 、 $\angle C$ の二等分線の交点を I とし、 I から辺 BC 、 CA 、 AB にそれぞれ垂線 ID 、 IE 、 IF を引く。
 点 I は 3 辺から等距離にあるので、 I を中心として ID を半径とする円は 3 辺に接する。この円を $\triangle ABC$ の (5 内接円) といい、中心 I を $\triangle ABC$ の (6 内心) という。



三角形の内心
三角形の 3 つの内角の二等分線は 1 点で交わる。

例 7 右の図で、点 I が $\triangle ABC$ の内心であるとき、 $\angle BAC$ の大きさを求めてみよう。

IB 、 IC はそれぞれ $\angle ABC$ 、 $\angle ACB$ の二等分線であるから

$$\angle ABC = 2 \times 30^\circ = 60^\circ$$

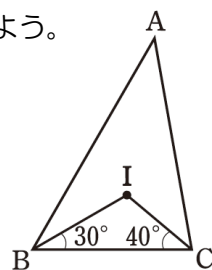
$$\angle ACB = 2 \times 40^\circ = 80^\circ$$

三角形の内角の和は 180° であるから

$$\angle BAC = 180^\circ - (\angle ABC + \angle ACB)$$

$$= 180^\circ - (60^\circ + 80^\circ)$$

$$= 40^\circ$$



問 9 右の図で、点 I は $\triangle ABC$ の内心である。 x の値を求めなさい。

IA 、 IC はそれぞれ $\angle BAC$ 、 $\angle BCA$ の二等分線であるから

$$\angle BAC = 2 \times 35^\circ = 70^\circ$$

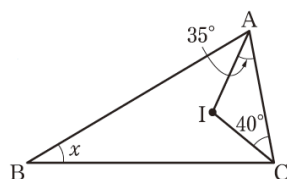
$$\angle BCA = 2 \times 40^\circ = 80^\circ$$

三角形の内角の和は 180° であるから

$$x = 180^\circ - (\angle BAC + \angle BCA)$$

$$= 180^\circ - (70^\circ + 80^\circ)$$

$$= 30^\circ$$



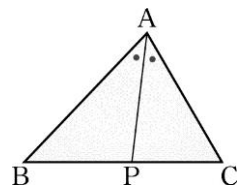
4 角の二等分線と線分の比

(教科書 p.52)

角の二等分線と線分の比

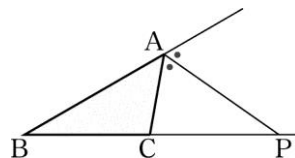
△ABCで、∠Aの二等分線と対辺BCの交点をPとすると

$$BP : PC = AB : AC$$



△ABCで、頂点Aにおける外角の二等分線と対辺BCの延長の交点をPとしても、次の式は成り立つ。

$$BP : PC = AB : AC$$



例8 右の図で、APを∠Aの二等分線とすると、xの値を求めよう。

APを∠Aの二等分線とすると

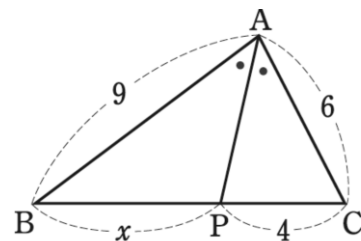
$$BP : PC = AB : AC$$

よって

$$x : 4 = 9 : 6$$

$$6x = 4 \times 9$$

これを解いて $x = 6$



問10 右の図で、APは∠Aの二等分線である。xの値を求めなさい。

APが∠Aの二等分線であるから

$$BP : PC = AB : AC$$

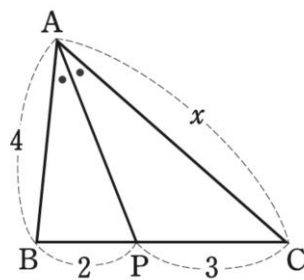
よって

$$2 : 3 = 4 : x$$

$$2x = 3 \times 4$$

これを解いて

$$x = 6$$

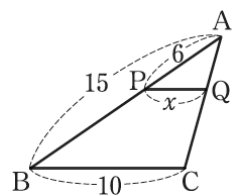


復習問題

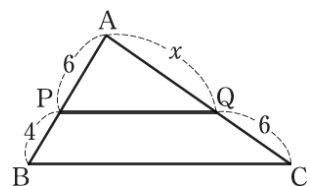
(教科書 p.53)

1 次の図で、 $PQ \parallel BC$ であるとき、 x の値を求めなさい。

(1)



(2)

(1) $PQ \parallel BC$ であるから

$$AP : AB = PQ : BC$$

$$\text{よって } 6 : 15 = x : 10$$

$$6 \times 10 = 15x$$

$$\text{これを解いて } x = 4$$

(2) $PQ \parallel BC$ であるから

$$AP : PB = AQ : QC$$

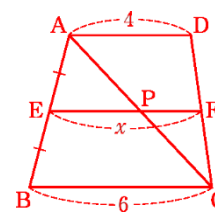
$$\text{よって } 6 : 4 = x : 6$$

$$6 \times 6 = 4x$$

$$\text{これを解いて } x = 9$$

2 右の図で、四角形 ABCD は $AD \parallel BC$ の台形である。また、点 E は辺 AB の中点で、 $EF \parallel AD$ である。 x の値を求めなさい。

EF と AC の交点を P とする。

 $\triangle ABC$ で、 $EP \parallel BC$ であるから

$$AP : PC = AE : EB = 1 : 1$$

ゆえに、点 P は辺 AC の中点である。

よって、中点連結定理により

$$EP = \frac{1}{2}BC = \frac{1}{2} \times 6 = 3$$

 $\triangle CDA$ で、 $PF \parallel AD$ であるから

$$CF : FD = CP : PA = 1 : 1$$

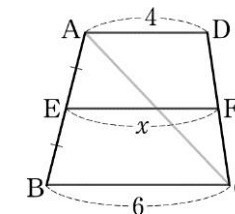
ゆえに、点 F は辺 CD の中点である。

よって、中点連結定理により

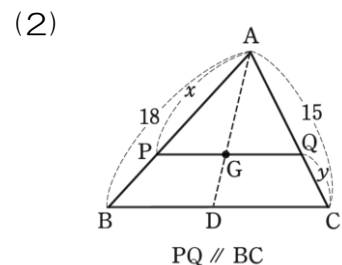
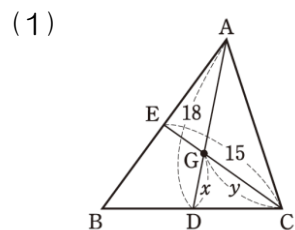
$$PF = \frac{1}{2}AD = \frac{1}{2} \times 4 = 2$$

 $x = EP + PF$ であるから

$$x = 3 + 2 = 5$$



3 次の図で、点Gは△ABCの重心である。x, yの値を求めなさい。



(1) 点Gが△ABCの重心であるから

$$AG : GD = 2 : 1$$

よって $AD : GD = 3 : 1$

$$18 : x = 3 : 1$$

$$18 \times 1 = 3x$$

これを解いて $x = 6$

また $EC : GC = 3 : 2$

$$15 : y = 3 : 2$$

$$15 \times 2 = 3y$$

これを解いて $y = 10$

(2) 点Gが△ABCの重心であるから

$$AG : GD = 2 : 1 \quad \dots\dots ①$$

PQ // BC であるから

$$AP : PB = AG : GD \quad \dots\dots ②$$

$$AQ : QC = AG : GD \quad \dots\dots ③$$

①, ②より $AP : PB = 2 : 1$

したがって $AP : AB = 2 : 3$

$$x : 18 = 2 : 3$$

$$3x = 18 \times 2$$

これを解いて $x = 12$

①, ③より $AQ : QC = 2 : 1$

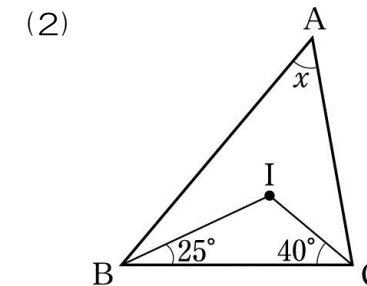
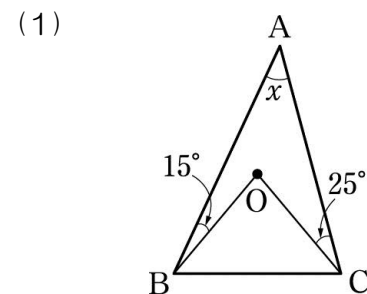
したがって $AC : QC = 3 : 1$

$$15 : y = 3 : 1$$

$$15 \times 1 = 3y$$

これを解いて $y = 5$

4 次の図で、点O, Iはそれぞれ△ABCの外心, 内心である。xの値を求めなさい。



(1) 点Oが△ABCの外心であるから

$$OA = OB = OC$$

よって, △OBAは二等辺三角形となり

$$\angle OAB = \angle OBA = 15^\circ$$

また, △OACも二等辺三角形となるから

$$\angle OAC = \angle OCA = 25^\circ$$

したがって

$$x = \angle OAB + \angle OAC$$

$$= 15^\circ + 25^\circ$$

$$= 40^\circ$$

(2) IB, ICはそれぞれ∠ABC, ∠ACBの二等分線であるから

$$\angle ABC = 2 \times 25^\circ = 50^\circ$$

$$\angle ACB = 2 \times 40^\circ = 80^\circ$$

三角形の内角の和は180°であるから

$$x = 180^\circ - (\angle ABC + \angle ACB)$$

$$= 180^\circ - (50^\circ + 80^\circ)$$

$$= 50^\circ$$

5 右の図で、APは $\angle A$ の二等分線である。次の問に答えなさい。

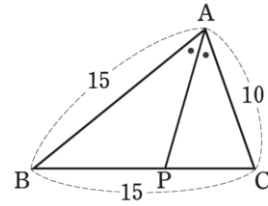
(1) $BP : PC$ を求めなさい。

APが $\angle A$ の二等分線であるから

$$BP : PC = AB : AC = 15 : 10$$

よって

$$BP : PC = 3 : 2$$



(2) BP , PC の長さを求めなさい。

(1)の結果より

$$BC : BP = 5 : 3$$

$BC = 15$ であるから

$$15 : BP = 5 : 3$$

$$15 \times 3 = 5BP$$

よって $BP = 9$

$PC = BC - BP$ であるから

$$PC = 15 - 9 = 6$$